



広 い 心

学校便り 8号
令和7年 7月4日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武真史

平和集会



6月20日(金)、平和集会を行いました。今年は、宮古島市教育委員会生涯学習振興課の久貝弥嗣(くがいみつぐ)氏を講師として招聘し、戦中の宮古島の様子について講話をしていただきました。沖縄本島での戦時中の様子との少し違って、食糧難や居住地不足から、マラリヤが流行し、病気で死者が多かった当時の状況などをお話していただきました。今回、宮古島の当時の様子について知ることができ、改めて戦争が身近なところで起きたことであることを実感できたと思います。また、今回の平和集会では、平和を願い「月桃」の歌を歌ったり、黙とうをささげたり、「自分にできること」として、一人一人がメッセージを発表したりしました。それぞれの発達段階に合わせて、「ふわふわ言葉(優しい言葉)を使いたい」「人を気持ちよくしたい」「困っている人がいたら助けたい」「思いやりのある広い心で生活したい」等、相手を思いやる気持ちをもってくれたようでした。



校外学習(ゆぴと農園体験学習)



7月1日(火)、3,4年生は校外学習として、「ゆぴと農園」へ行きました。まずはじめに、下地克子さんが、マンゴーづくりについて説明していただきました。そして、収穫したマンゴーを重さを計ってパックに詰める作業についてレクチャーを受け、実際に体験させていただきました。初めての作業に興味津々な子供たちは、意欲的に作業に取り掛かりました。「パックにシールを張る作業に没頭する女の子たち」「いつまでもマンゴーの重さを計り続ける男の子たち」がおり、「こういう体験を通して、自分の興味や得意を見つけていくのかな」と感じました。そして、いよいよマンゴーのビニールハウスで収穫体験がありました。今の時期のハウス内は50℃にもなるようで、暑さを我慢しつつも、やはり初めての体験として収穫に夢中になる子供たちの姿がありました。収穫したマンゴーを下地正作さん指導のもと籠に入れ、除菌する機械に入れるまでの作業をさせていただきました。その後、糖度を測る機械を使う体験やマンゴーの試食などもあり、充実した笑顔を見せる子供たちでした。下地正作さん、克子さん本当にお世話になりました。

